

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

次世代研究者育成プログラム

イノベーション創出人材の 実践的養成・活用プログラム

養成対象者
(人文社会系、理工農医療系)

博士課程後期(D)
若手研究員(PD)

- ・企業等への長期インターンシップ
 - ・プラットフォーム構築
 - ・博士人材DB
 - ・意識啓発
- (対象)博士人材→深い専門性と広い視野
(対象)大学教職員→博士人材育成の気づき
(対象)企業人→博士人材の有用性の気づき

テニュアトラック導入による 若手研究者の自立・流動促進 プログラム

キャリアパス

大学教員

公的研究機関研究員

企業の研究員

- ・コンソーシアムで一括公募/審査
- ・公開ヒアリングによりマッチング
- ・年俸制+テニュアトラック制
- ・メンター及び研究支援者の配置
- ・新任研究者/教員としての研修
- ・ラボローテーション/海外派遣
- ・クロスアポイントメント
- ・適材適所

博士人材の、適材適所な就職を
可能とするシステムを構築

×

優秀なイノベーション創出人材
を地方で育成

=地方の競争力強化

→ 若手研究人材が中四国から日本の未来を拓く

【効果】

中国四国地方の3大学を中心とした コンソーシアムを構築することによる効果

(現状)

- ・大学のシステム改革が不十分
- ・教職員の意識改革が不十分
- ・キャリアパスが中央志向
- ・企業との共同研究が単発的
- ・産業集積が少ない
- ・地域企業の博士人材への理解不足
- ・オンリーワン企業が多い

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

代表機関: 広島大学

共同実施機関: 山口大学 徳島大学

〔連携機関〕(平成26年10月現在)

(国立大学)

岡山大学 島根大学 鳥取大学

愛媛大学 香川大学 高知大学

鳴門教育大学

(公私立大学)

県立広島大学 広島市立大学

広島国際大学 立命館大学

(地方公共団体)

広島県

(公的研究機関)

産業技術総合研究所中国センター

産業技術総合研究所四国センター

酒類総合研究所

(企業)

マツダ サタケ JFEスチール

ジェーイーエル

日本ハム中央研究所

EYアドバイザリー

(1) 研究環境改善

- プラットフォームとしてテニュアトラック研究者を公募・選考
- 多様な雇用形態や流動性の拡大
- プラットフォーム内で若手研究者による共同研究増大

(2) 人材育成システムの改革

- 各大学や企業の強みを生かし、多様な人材育成
- 共同で博士人材を社会へと導くシステムを確立
- 優秀な女性の活躍の場



テニュアトラック導入による若手研究者の自立・流動促進プログラム

優秀な若手研究者を共同で公募・選考

テニュアトラック教員として採用(毎年8名程度)

若手研究者の雇用・流動の仕組み

若手研究者に対して“武者修行”の場を与え、キャリアオプションの拡大、ネットワークの構築、知の共有、共同研究の活性化を図る

①クロスアポイントメント

研究者の年俸を複数機関でシェアし、シェアに応じて一定期間を異なる機関で研究活動に従事

②ラボローテーション

各機関のニーズや研究者本人のキャリア発展に資する場合に、複数機関でローテーションを実施

③共同実施機関以外の機関への派遣

共同実施機関内で若手研究者を雇用したまま派遣

補助事業終了後の継続性

自主財源による採用・雇用の継続

クロスアポイントメントの柔軟な運用 など

若手研究者の採用・評価の仕組み

公募(6月～8月、12月～2月)

共同実施機関&連携機関の希望に基づき、募集人数を決定。本事業補助対象外であるポストについても、一括公募する可能性もある。

選考(8月～9月、2月～3月)

共同実施機関&連携機関共同で選考。

第一次:書類審査

第二次:公開ヒアリング(マッチング兼ねる)

※共同実施機関以外での採用も可能とし、より多くの有能な若手研究者の雇用を確保

採用(4月、10月)

採用1年後の評価

採用2年後の評価

採用3年後の評価(中間評価)

採用4年半後の評価(最終評価)

※テニュア移行審査&マッチング兼ねる

イノベーション創出人材の実践的養成・活用プログラム

文理融合で人材育成
コンソーシアム内で共同プラットフォームを構築

研究力・企画力の養成

- 各機関の資源の相補的・相互的な活用
- トランスファブルスキル養成講座（英国Vitae等と連携）の展開



スキル指標と対応させながら、養成科目を体系化

- スキルの自己評価・管理システムの開発・運用
- スキル指標及び評価指標の開発

長期インターンシップ派遣（2ヶ月以上）

- 社会の多様な場での活躍促進（企業や社会の課題解決へ）

シーズ・ニーズの出会いの場の提供

- 人材・研究シーズ・ニーズの情報共有・検索支援
- 大学・企業間での分野/文理融合による対話型ワークショップ
- スキル開発・ネットワーク構築・理解増進関連イベントの開催
（企業人材セミナー、シーズ発表会、起業化/博士研究コンペなど）

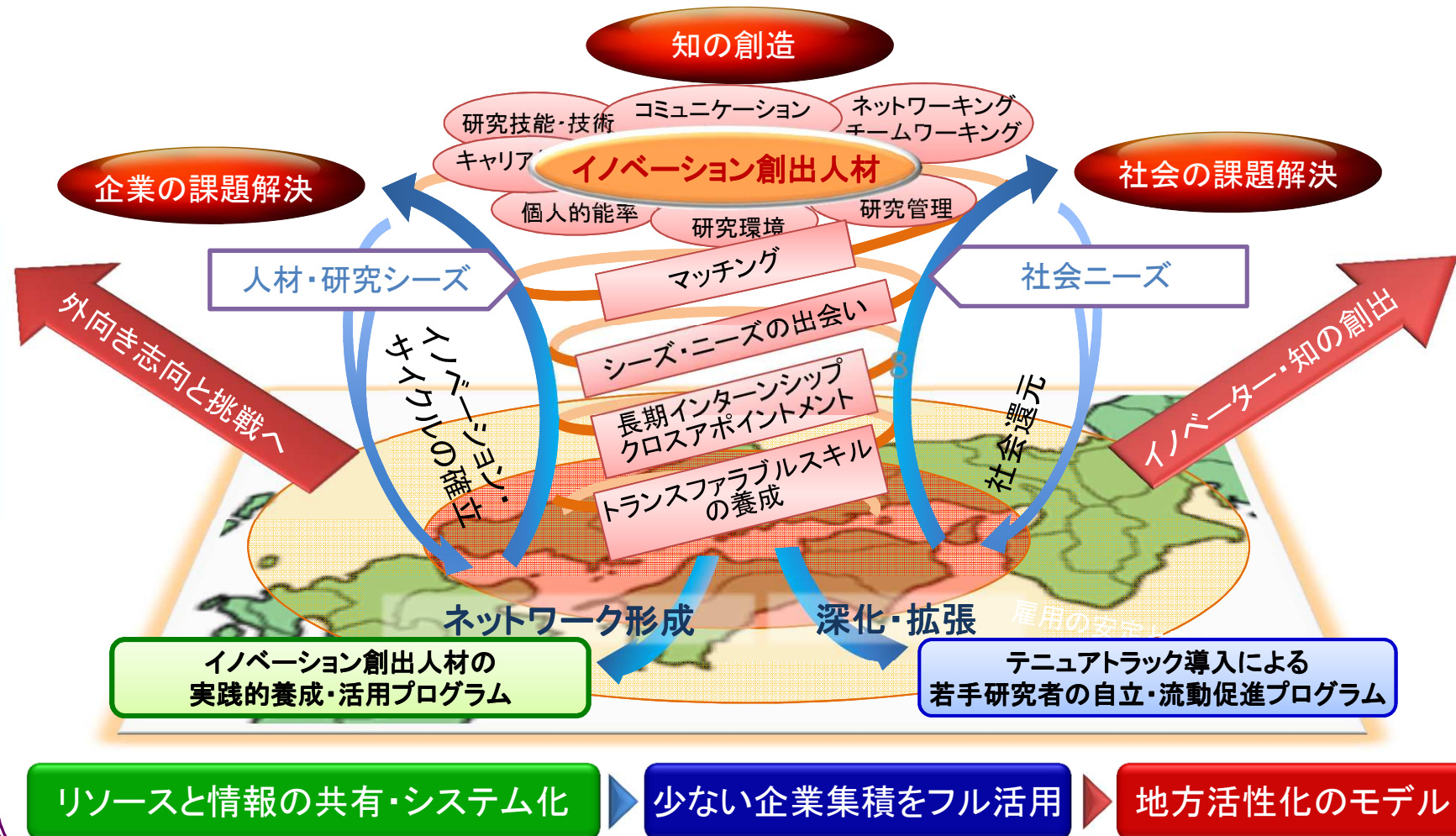
マッチング支援

- 長期インターンシップ、クロスアポイントメント、共同研究、就職等

補助事業終了後
プラットフォームの継続活用↓地方全体への拡大
各大学の学内システムへの組み込み

未来を拓く地方協奏プラットフォーム

「理系に強い人社系、人社系に強い理系」の博士人材を育成
特に地方創生に力となる人材を輩出



平成 26 年度科学技術人材育成費補助事業
「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業」

○次世代研究者育成プログラム選定機関一覧

	コンソーシアム名	代表機関名/ 総括責任者名	共同実施機関名
1	「連携型博士研究人材総合育成システムの構築」	国立大学法人北海道大学 山口 佳三	東北大学 名古屋大学
2	「京阪神三位一体型 次世代研究リーダー育成コンソーシアム(仮称)～三都から発信する次代を担うグローバル研究リーダー育成の新機軸～」	国立大学法人京都大学 山極 壽一	大阪大学 神戸大学
3	「未来を拓く地方協奏プラットフォーム」	国立大学法人広島大学 浅原 利正	山口大学 徳島大学
4	「ナノテクキャリアアップアライアンス Nanotech Career-up Alliance(Nanotech CUPAL)」	独立行政法人 産業技術総合研究所 中鉢 良治	物質・材料研究機構 高エネルギー加速器 研究機構 筑波大学 京都大学 北海道大学 東京大学 東京工業大学 東京理科大学 早稲田大学 京都工芸繊維大学 大阪大学 神戸大学 立命館大学 同志社大学

計 4 件 (参考：申請件数 11 件)

○研究支援人材育成プログラム選定機関一覧

	コンソーシアム名	代表機関名/ 総括責任者名	共同実施機関名
1	「地域特性を活用した「多能工型」研究支援人材養成拠点」	国立大学法人群馬大学 高田 邦昭	宇都宮大学 茨城大学
2	「水産海洋イノベーションコンソーシアム」	国立大学法人東京海洋大学 岡本 信明	岩手大学 北里大学
3	「再生医療支援人材育成コンソーシアム」	国立大学法人大阪大学 平野 俊夫	京都大学 東京医科歯科大学

計 3 件 (参考：申請件数 7 件)